

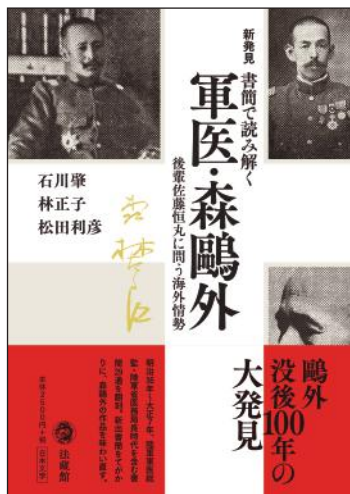
新発見書簡で
読み解く

軍医森鷗外

後輩軍医佐藤恒丸に問う海外情勢

いしかわ はじめ はやし まやこ
石川 肇・林 正子・松田利彦編
まつだ としひこ

2024年4月刊行



鷗外没後一〇〇年の大発見。

明治三六年〜大正七年、陸軍軍医総監・陸軍省医務局長時代の書簡29通を翻刻。鷗外「豊熟の時代」のもう一面とは。新出書簡をてがかりに、森鷗外の作品を味わい直す。

▼A5判・並製カバー・284頁 定価 二、七五〇円

【目次】

はじめに——軍医森鷗外の小説を味わう(石川 肇)

第I部 軍医・森鷗外を知るために

第一章 佐藤恒丸と森鷗外(松田利彦)

第二章 鷗外「豊熟の時代」における軍医の素顔と作家の精神

——佐藤恒丸宛書簡と「Resignation」の文学(林 正子)

第三章 鷗外を悩ませた戦地の患者運搬車(石川 肇)

第II部 新発見 森鷗外の書簡

——翻刻・読み下し・現代語訳

第III部 「軍医」をキーワードに味わう森鷗外の小説

舞姫

文づかい

鷗外猟史とは誰ぞ

杯

木精

花子

興津弥五右衛門の遺書

高瀬舟

おわりに——新発見、軍医森鷗外の書簡(石川 肇)

◆編者略歴

石川 肇(いしかわ はじめ)

一九七〇年生まれ。現在、京都日本文化資源研究所所長、国際日本文化研究センター特定研究員。専門は東アジア近代の大衆文化研究(博士〈文学〉)。著書に『博文館「太陽」と近代日本文明論——ドイツ思想・文化の受容と展開』(勉誠出版、二〇一七)、『異郷における森鷗外、その自己像獲得への試み』(近代文藝社、一九九三)など。

林 正子(はやし まやこ)

一九五五年生まれ。現在、国立大学法人東海国立大学機構岐阜県立大学名誉教授。専門は日本近代文学・日独比較文学(博士〈文学〉)。著書に『博文館「太陽」と近代日本文明論——ドイツ思想・文化の受容と展開』(勉誠出版、二〇一七)、『異郷における森鷗外、その自己像獲得への試み』(近代文藝社、一九九三)など。

松田利彦(まつだ としひこ)

一九六四年生まれ。現在、国際日本文化研究センター副所長、総合研究大学院大学教授。専門は近現代の日朝・日韓関係史研究(博士〈文学〉)。著書に『日本の朝鮮植民地支配と警察——一九〇五〜一九四五年』(校倉書房、二〇〇九)、編著『植民地帝国日本における知と権力』(思文閣出版、二〇一九)など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
石川 肇・林 正子・松田利彦編	
新発見書簡で 読み解く 軍医森鷗外	
後輩軍医佐藤恒丸に問う海外情勢	
ISBN:978-4-8318-6285-3 C1091	
お名前	住所
お電話	

法蔵館

定価 二、七五〇円

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

文芸・評論